

間文化現象学プロジェクト

第5回 シンポジウム

統一テーマ

時間

日時：2013年3月13日(水) 9時40分～17時50分

会場：立命館大学 衣笠キャンパス 末川記念会館講義室

<プログラム>

09:40~09:50 開会の言葉

09:50~11:00

人類学を通る還元の道

—フッサールとレヴィ=ブリュル、
メルロ=ポンティとレヴィ=ストロース—

"The Way of the Reduction via Anthropology
—Husserl and Lévy-Bruhl, Merleau-Ponty and
Lévy-Strauss—"

佐藤 勇一 (立命館大学)

11:10~12:20

西田とハイデガーにおける「私」と「汝」

"Ich und Du bei Nishida und Heidegger"

榊原 哲也 (東京大学)

13:50~15:00

時間構成の「多層性」がもつ現象学的意味

"Der phänomenologische Sinn der *Mehrstufigkeit*
der Zeitkonstitution"

アレクサンダー・シュネル Alexander SCHNELL (パリ第四大学)

15:10~16:20

間文化的対話の歴史性

"The Historicity of Intercultural Dialogue"

ゼバスティアン・ルフト Sebastian LUFT (マルケット大学、ミルウォーキー)

16:40~17:40 全体討論

17:40~17:50 閉会の言葉

※当日は各発表の翻訳を配布し、議論は英語で行われます。
シンポジウム終了後、懇親会を予定しておりますので、そちらも是非ご参加下さい。

[お問い合わせ先]

立命館大学 人文科学研究センター事務局

TEL: 075-465-8225 FAX: 075-465-8245 E-mail: jinbun@st.ritsume.ac.jp

聴講無料

事前申込不要